

つが・る

【ツガル
t s u g a ・ r u】
（動）

【意味】**神に頼りまくる**

【解説】 広大な海も山もある自然豊かなつがる市では、自然にまつわる言い伝えや信仰が多くあり、あらゆる場面で神頼みをすることから。

【例文】 ・高嶺の花の女の子に告白する…。

とにかく**つがる**しかない。

・テストの前日に寝てしまい、赤点になりそうだ。もう**つがる**しかない。



市民がつがる(神に頼る)スポット、一見の価値あり

高山稲荷神社(千本鳥居)

古くから五穀豊穡、海上安全、商売繁盛の神様として信仰されています。ここでしか見れない千本鳥居は一見の価値があります。

【出典(制作者)】 木造高校 大坂優生・會津侑南・神萌葵 / キャンパスラボ 宮本真衣・兼田日向子

動詞で伝えるつがる市の魅力

新解釈

つがる辞典

つがる市ファン獲得大作戦withキャンパスラボ*



青森県 つがる市 ×



CAMPUS
LAB.
campuslab.jp



様々な魅力が詰まった青森県つがる市。その魅力をさらに発掘し全国に伝えていきたいという思いから、つがる市に住む高校生と首都圏の大学生が、つがる市の魅力を表現する新しい動詞「つが・る」を創り出しました。思い思いの「つが・る」を集めた辞典をみんなで創り上げるプロジェクトに挑戦しています。

*キャンパスラボとは…各大学のアンバサダーが集まり主体的に社会課題に取り組み、企業や自治体と共創し、課題を解決するプロジェクトチーム。